

# 令和3年度事業報告

本年度において実施した協会運営及び協会事業について、次のとおり報告させていただきます。

## 1 協会の運営状況

### (1) 会員の状況

令和4年3月31日現在の会員数は537社（うち正会員479社、賛助会員58社）です。令和3年度に会員13社（正会員10社、賛助会員3社）が加入され、会員6社（正会員5社、賛助会員1社）が退会したため、令和3年度としては、7社の増となっています。

### (2) 総会、理事会等の開催

#### ア 総会

第9回定時総会を5月25日、ホテルレイクビュー水戸で開催し、令和2年度の事業報告及び収支決算、役員の改選について審議され、原案どおり承認されました。また、令和3年度の事業計画及び収支予算について、令和2年度公益目的支出計画実施報告書について報告がなされました。

（出席者356社 うち書面議決書提出308社 委任状提出28社）

#### イ 理事会、正副会長会議の開催

##### (7) 理事会

8回開催。会員の入会の承認について、第9回定時総会議案書について、いばらき自民党への県政要望について、各業務委員会における令和3年度の事業計画についてなどの議題を審議しました。

（開催月日：4月26日、5月25日、6月11日、8月5日、10月14日、  
12月2日、1月26日、3月10日）

##### (4) 正副会長会議

8回開催。理事会へ提案・審議する事項、委員会での審議事項など協会運営についての協議・検討を行いました。

（開催月日：4月27日、6月11日、8月6日、10月14日、12月2日、  
1月11日、1月26日、3月10日）

### (3) 委員会等の開催

#### ア 総務企画委員会

3回開催。協会の収入の確保や経費節減を検討したほか、予算の執行状況を確認しました。

（開催月日：7月26日、11月15日、2月24日）

#### イ 適正処理委員会

4回開催。令和3年度の事業計画及び今後の活動方法について検討したほか、専門部会設置に向けての意見交換会を開催のうえ、専門部会の設置を理事会に諮り承認されました。また、1月には産業廃棄物処理実務担当者研修会（参加者91名）をウェブ開催しました。

（開催月日 7月2日、7月26日、11月10日、1月28日）

#### ウ 研修厚生委員会

4回開催。令和3年度優良産業廃棄物処理施設等の研修については、コロナ禍のため、現地での見学は取りやめ、ウェブによる会員企業の視察研修会とYouTubeやSNSを利用した施設のPR研修会（参加者60名）を合わせて1月に開催いたしました。親睦チャリティゴルフコンペについては、2月開催を計画しましたが、コロナ禍が拡大したため中止を余儀なくされました。

（開催月日 7月2日、9月16日、12月8日、1月12日）

#### エ 広報調査研究委員会

1回開催。7月20日（火）委員会を開催し、令和3年度の事業計画を作成しました。また事業計画に基づき、資源循環いばらきを7月、12月、3月に発行しました。協会ニュースは、1年間で12号を発行、メールアドレスを登録した会員には電子メールでの配信も行うなど、会員の皆様に新しい情報を的確に広報することができました。

（開催月日 7月20日）

#### オ 安全衛生委員会

3回開催。7月20日（火）委員会を開催し、令和3年度の事業計画を作成しました。事業計画に基づき、10月にKYT研修会（参加者24名）を、11月に転倒防止対策セミナー（参加者26名）を開催しました。

（開催月日 7月20日、10月22日、11月18日）

#### （4）青年部会

幹事会を6回開催。コロナ禍で事業スタイルが激変する中、今できることを最大限に考え、リモートでの話し合いや寄付活動、クラウドファンディングでの支援・交流を実施し、アフターコロナの事業に繋げることができました。

（開催月日 4月6日、4月27日、7月14日、9月10日、12月21日、3月7日）

#### （5）公益目的支出計画の実施完了の確認

公益目的支出計画の実施が予定どおり令和2年度をもって完了したため、茨城県知事に対し実施完了の確認申請をしたところ、令和3年10月12日付けで公益目的支出計画の実施完了の確認がされました。これにより、当協会は茨城県から監督を受けることはなくなりました。

## 2 協会事業の実施状況について

### (1) 調査研究事業

全産連等が実施した産業廃棄物処理業の景況動向調査をはじめ各種調査に協力・実施しました。

### (2) 研修講習事業

#### ア (財) 日本産業廃棄物処理振興センター講習会

##### (ア) 新規講習会

・産業廃棄物収集・運搬課程	5回	256名
・産業廃棄物処分課程	2回	90名

##### (イ) 更新講習会

・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物収集・運搬課程	9回	467名
--------------------------	----	------

(ウ) 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	8回	419名
---------------------------	----	------

#### イ 茨城県産業廃棄物処理業者講習会

令和3年12月3日、ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県県民文化センター）で公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの担当者及び茨城県県民生活環境部廃棄物規制課の職員による「電子マニフェストについて」「廃棄物処理施設等の更新及び交換に係る手続について」「優良産廃処理業者認定制度等について」の講習会が開催され、194名が参加しました。

### (3) 相談指導業務

#### ア 産業廃棄物の処分先の照会等

廃棄物処分先について、電話等による相談を受けたものについては、会員である収集運搬事業者・中間処理事業者・最終処分事業者の方々への紹介を積極的に行い、産業廃棄物の適正処理の推進を図りました。

#### イ 産業廃棄物処理業の許可取得に関する相談等

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業（収集運搬業、処分業）の許可取得や変更届などについて、会員の皆様方からの電話や来訪による相談に対応しました。

#### ウ 産業廃棄物処理施設の設置等に関する相談

産業廃棄物処理施設の設置等について、会員の皆様方からの電話、来訪による相談に対応しました。

#### (4) 交流事業

##### ア 行政機関との意見交換会の開催

協会の円滑な運営と事業の展開を図るため、行政の方々と意見交換会を開催しました。

(開催月日 8月5日)

##### イ 公益社団法人全国産業資源循環連合会関連会議

- ・ 第11回定時総会 (6月) Web会議
- ・ 臨時会長・理事長会議 1回(1月) Web会議
- ・ 全国正会員事務局責任者会議 2回(7月、2月) Web会議

##### ウ 全産連関東地域協議会の関連会議

- ・ 関東地域協議会 2回(4月、11月) Web会議
- ・ 事務責任者会議 2回(4月、10月) Web会議

##### エ 新春賀詞交歓会

行政及び関係機関の方々との交流や会員相互の交流を図るため、1月26日の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止を余儀なくされました。

#### (5) 広報啓発事業

##### ア 協会ホームページ等による情報提供 <http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

国、県、関連団体等からの行政情報及び協会で実施した各行事などについて、協会ホームページに掲載、情報提供の充実を図りました。協会会員等に対しては、各種の講習会、国、県、関連団体等からの最新情報を紙面で迅速に情報提供を行うと共に、「資源循環いばらき」を発行し各種の情報を提供しました。また、ファックス、電子メールにより迅速且つ効果的な各種の情報提供を実施しました。

##### イ 新聞の活用

茨城県産業資源循環協会を広く県民に認知していただくため、茨城新聞や環境関係新聞へ掲載し、協会のPRに努めました。(掲載10回)

##### ウ マニフェスト(産業廃棄物管理票)使用の普及促進

###### (ア) 紙マニフェストについて

産業廃棄物排出事業者や建設系廃棄物の元請事業者などに40万3900セットのマニフェストを頒布し、併せて小冊子マニフェストシステムがよくわかる本を頒布し、その使用の普及促進に努めました。

(イ) 電子マニフェストについて

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、(公財)日本産業廃棄物処理振興センターから受託予定の電子マニフェスト操作体験セミナーなどの開催が中止を余儀なくされました。

(6) ボランティアU. D. 監視員制度運営事業 (県委託事業)

ア 不法投棄監視パトロール実施状況等の運営管理

監視員500名の実施した不法投棄監視活動状況を集計管理し行政に報告しました。

イ 監視員登録証の更新手続

協会監視員100名のうち2分の1の50名の登録証の更新手続を行いました。

(7) 茨城県廃棄物再資源化指導センター事業 (県委託事業)

ア 廃棄物の適正処理相談事業

廃棄物の適正処理に関する一般県民からの相談に対応しました。

イ ホームページによる情報提供

産業廃棄物のリサイクルに関する優良事業所の概要等について、ホームページ上に公開し、事業所や処理業者の方々の産業廃棄物の再資源化や有効利用についての情報を提供しました。

ウ 茨城県産業廃棄物適正処理指導啓発講習会の開催

令和4年2月21日、株式会社リーテムの浦出陽子氏を講師に迎え、排出事業者を対象としたウェブ講習会を開催し、186名の参加がありました。

(8) 公共関与による最終処分場整備についての要望

県が公共関与による最終処分場の候補地として決定した日立市諏訪町への最終処分場整備促進を図るため、4月6日に地元日立市長、日立市議会議長に対し要望を行いました。

(9) 関連事業

ア 表彰事業

(ア) 全産連の表彰規定に基づく表彰

- ・ 功労者 1名
- ・ 地方功労者 3名
- ・ 優良事業所 1事業所

- ・ 地方優良事業所 5 事業所
  - ・ 優良従事者 5 名
- (イ) (一社) 茨城県産業資源循環協会の表彰規定に基づく表彰
- ・ 功労者 3 名
  - ・ 優良事業所 5 事業所
  - ・ 優良従事者 10 名
- (ウ) 環境大臣表彰
- ・ 循環型社会形成推進功労者等 1 名
- (エ) 知事表彰
- ・ 環境保全功労者 1 名
  - ・ 不法投棄防止功労者 1 名

## イ 不法投棄廃棄物ボランティア事業

協会設立 20 周年の記念事業として平成 21 年度から実施してきたボランティア事業については、行政をはじめ地域の大勢の方々の参加・協力を得て実施し、不法投棄撲滅の意識啓発に寄与しました。

- ・ 県北支部 令和 3 年 11 月 17 日実施 (大子町)
- ・ 鹿行支部 令和 3 年 11 月 25 日実施 (神栖市)
- ・ 県南支部 令和 3 年 11 月 13 日実施 (河内町)
- ・ 県西支部 令和 3 年 9 月 28 日、12 月 11 日実施  
(常総市、桜川市)

また、11 月 3 日に実施されたロータリークラブ第 2820 地区茨城海岸美化プロジェクトに各支部が協力し、県内 4 海岸 (日立市伊師浜、ひたちなか市阿字ヶ浦、大洗町大洗サンビーチ、鹿嶋市平井) で清掃、運搬・処分に従事、自然環境の保全に貢献しました。